

新フェローの紹介

圓川 隆夫 (えんかわ たかお) 氏

昭和 24 年 11 月生れ

〔学歴〕 昭和 50 年 東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 50 年 東京工業大学工学部助手

昭和 55 年 同助教授

昭和 63 年 同教授

平成 8 年 同大学院社会理工学研究科教授, 現在に至る

この間, 同大学院社会理工学研究科長, 同大学院イノベーションマネジメント研究科長を歴任

〔OR 学会関係〕 経営工学関連学会協議会 (FMES) 会長

〔著書等〕 我が国文化と品質 (日本規格協会, 2009), オペレーションズ・マネジメントの基礎 (朝倉書店, 2009), おはなし新商品開発 (共著, 日本規格協会, 2007) 他, 学術論文 120 編, 研究発表多数

圓川氏は, 生産と品質管理のマネジメントで研究と後進の指導に当たられ, OR 分野でも優れた人材を育てられています。特に生産では SCM, 品質では CS および新商品開発の観点から, それぞれの性能が経営成果にどのように結びつくかのメカニズムや国際比較を, 独自データベースを構築し進めておられ, 傍ら, 多くの国家的な産業政策に関する審議会・委員会の座長を務められ, 産業支援のためのシステム構築の推進, 経営科学的なアプローチによる合理的な政策意思決定に貢献されています。



高木 英明 (たかぎ ひであき) 氏

昭和 25 年 3 月生れ

〔学歴〕 昭和 58 年カリフォルニア大学ロサンゼルス校計算機科学科修了 (Ph. D.)

〔職歴〕

昭和 47 年 日本アイ・ピー・エム(株)入社

平成 5 年 筑波大学社会工学系教授

平成 14 年 同副学長

平成 16 年 同大学院システム情報工学研究科教授, 現在に至る

〔OR 学会関係〕 待ち行列研究部会主査 平成 20~21 年度

〔著書等〕 Analysis of Polling Systems (MIT Press), Queueing Analysis 全 3 巻 (Elsevier), Spectrum Requirement Planning in Wireless Communications (共編著, John Wiley & Sons), 学術論文 90 編以上, 研究発表多数

高木氏は, 主として待ち行列理論のコンピュータと情報通信ネットワークの性能評価への応用研究に貢献され, 特に, 巡回サービス多重待ち行列の理論的解析と, その LAN や移動体通信のプロトコルへの応用における先駆的成果は, 世界的に多くの研究を誘発されました。モバイル IT フォーラムからの委託で開発された次世代移動通信システムの所要周波数帯域幅算出法は, 2007 年世界通信会議において国際周波数配分決定の技術的基礎となりました。最近では, サービス科学の研究と人材育成を主導されるとともに, 数多くの著書や論文発表の他, 国際研究集会を主宰され, 海外学術誌の編集委員も務められています。



中出 康一 (なかで こういち) 氏

昭和 38 年 12 月生れ

〔学歴〕 昭和 63 年 京都大学大学院工学研究科数理工学専攻修士課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 63 年 名古屋工業大学生産システム工学科助手

平成 10 年 同講師

平成 13 年 同助教授

平成 15 年 同大学院工学研究科助教授

平成 18 年 同教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 中部支部幹事 平成 9~11 年度, 中部支部運営委員 平成 12~21 年度, 研究普及委員 平成 14~18 年度, 代議員 平成 18 年度~現在, 現在中部支部副支部長

〔著書等〕 ジャストインタイム生産システム (共著, 日刊工業新聞社), サプライチェーンハンドブック (翻訳, 共著, 朝倉書店), 学術論文 28 編, 研究発表多数

中出氏は, 生産システムの確率モデル解析と最適化, ならびに待ち行列システムの最適化の研究をされており, 特に多工程持ち生産ライン, 直列型生産ラインの性能評価, 最適化に関して顕著な業績を挙げておられます. 本学会においては, 長年にわたり中部支部幹事, 運営委員を歴任され, その活動を支えておられます.

三好 直人 (みよし なおと) 氏

昭和 40 年 11 月生れ

〔学歴〕 平成 6 年 京都大学大学院工学研究科博士課程満期退学 (工学博士)

〔職歴〕

平成 6 年 京都大学工学部助手

平成 10 年 東京工業大学大学院情報理工学研究科講師

平成 16 年 同助教授

平成 19 年 同准教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 33 回文献賞 平成 17 年度, 待ち行列研究会幹事 平成 12~13 年度, 研究普及委員 平成 17 年度~現在, 論文誌編集委員 平成 20 年度



~現在, 現在代議員

〔著書等〕 査読付き学術論文 20 編, 査読付き国際会議論文 12 編, 研究発表多数

三好氏は, 待ち行列を含む応用確率論の分野で研究活動をされており, 平成 17 年度には裾の重い確率分布を持つ単一サーバ待ち行列に関する論文により本学会文献賞を受賞されています. 本学会においても, 研究普及委員, 論文誌編集委員, 代議員としてその活動を支えておられます.

柳浦 睦憲 (やぎうら むつのり) 氏

昭和 43 年 3 月生れ

〔学歴〕 平成 5 年 京都大学大学院工学研究科数理工学専攻修士課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

平成 6 年 京都大学工学部助手

平成 12 年 同大学院情報科学研究科数理工学専攻講師

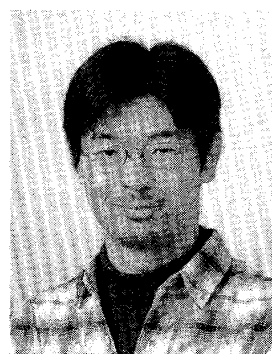
平成 17 年 名古屋大学大学院情報科学研究科助教授

平成 19 年 同准教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 33 回文献賞 平成 17 年度, 「OR 若手の会」研究会幹事 平成 7~10 年度, 同主査 平成 11~12 年度, 関西支部運営委員 平成 12~17 年度, 中部支部幹事 平成 21 年度~現在

〔著書等〕 組合せ最適化-メタ戦略を中心として (共著, 朝倉書店, 2001), 組合せ最適化: 実践的解法を中心として (システム制御情報学会マルチメディアライブラリー第 13 編 (2010)), 論文 46 編, 研究発表多数

柳浦氏は, 組合せ最適化問題に対する実践的な解法について幅広く研究活動をされており, 特にメタ戦略に基づくアルゴリズムの設計を中心的な研究テーマとされています. なかでも数理計画の手法をメタ戦略に取り入れることによって高性能なアルゴリズムを設計することに成功した論文は高く評価されており, 平成 17 年度には本学会文献賞を受賞されています. 本学会においては, 研究会幹事や支部幹事, 運営委員としてその活動を支えておられます.



山田 武夫 (やまだ たけお) 氏

昭和 21 年 10 月生れ

〔学歴〕 昭和 58 年 スタン
フォード大学大学院経済シス
テム工学専攻修了 (Ph. D.)

〔職歴〕

昭和 45 年 シャープ(株)入社

昭和 47 年 防衛大学校助手

昭和 58 年 同講師

昭和 61 年 同助教授

平成 3 年 同教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 SSOR 実行委員 平成 3 年度,
RAMP セミナー実行委員長 平成 6 年度, 「防衛と安



全」研究部会運営委員 平成 20 年度～現在

〔著書等〕 査読付き学术论文 50 編, 総説 2 編, 翻訳
書 1 編, 研究発表多数

山田氏は, ナップサック問題, 全域木問題, 割り当
て問題等とそれらの拡張, 変型を中心に組合せ最適化
問題の解法に関する研究をされ, 海外の学術専門誌に
多数の論文を発表されております. また, これらの雑
誌の査読者を務められ, 英国 OR 学会論文誌の Inter-
national Advisory Board のメンバーとしても貢献さ
れておられます. 昭和 61 年には動的システムの構造
可制御性に関する研究により, IEEE の Outstanding
Paper Award を受賞されました. 本学会では, 「防衛
と安全」研究部会運営委員として活動を支えておられ
ます.